

ふ る さ と お も し ろ 統 計 学

間食好きの県民

## 菓子類で6位の消費額

### ～茨城県民は間食が大好き？～

みなさんは、いつもおやつに何を食べていますか。ふだん何気なく口にする菓子類ですが、本県の菓子類の消費額が全国の上位にあるのをご存じでしょうか。実は菓子類全体で第6位の消費額になっているのです。

平成8年家計調査から主な品目を見てみると、間食の代表であるせんべい、チョコレートが第1位、ビスケット（第2位）、スナック菓子（第5位）、ケーキ（第10位）など、ほとんどの品目が全国の上位にあります。

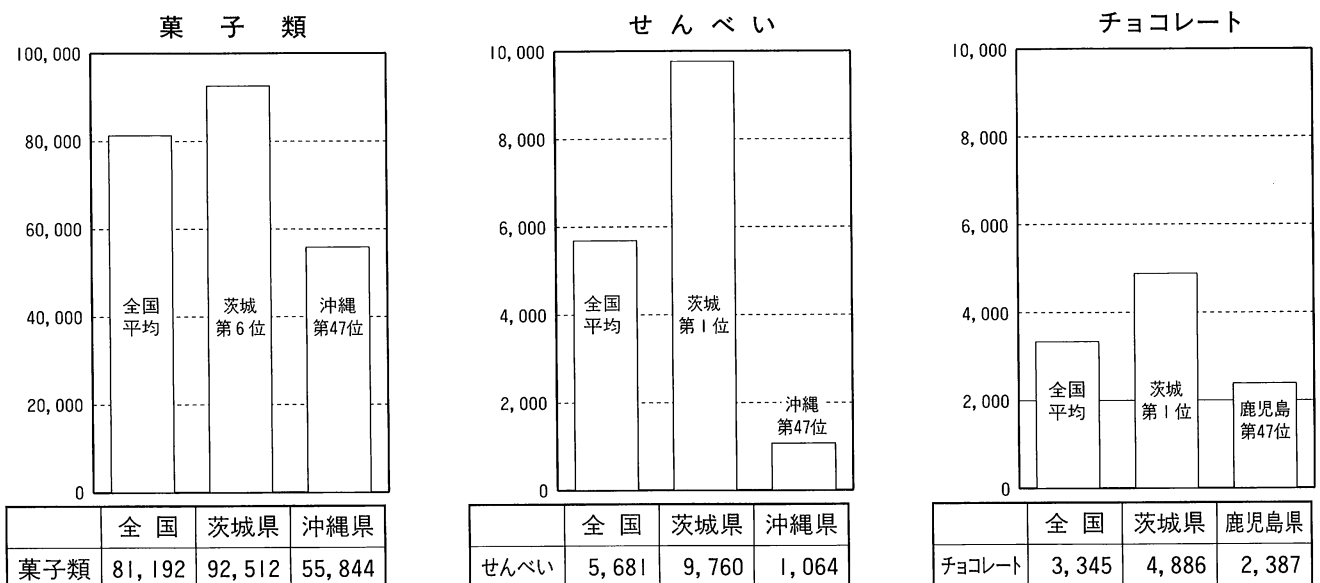
一方、主食の方を見ると、米（第47位）、めん類（第41位）、パン（第33位）と低くなっています。このようなことを考え合わせると、県民は間食が多いと言えるのではないのでしょうか。

間食が多いとどうしても栄養が偏りがちになり、糖分や塩分、カロリーを取り過ぎてしまいがちです。近年、成人だけでなく青少年の高血圧や肥満などが増加傾向にあり、成人病予備軍が増えていると言われておりますが、こういったところに原因があるのかも知れません。コンビニエンスストアやファーストフードの登場で、私たちの生活も便利になり、いつでも何でも買えるようになりましたが、一方で、生活パターンが二十四時間化し、ライフサイクルが不規則になっています。

このへんで、自分の食生活を振り返ってみることが、必要ではないでしょうか。本県は全国に誇れるおいしいお米や新鮮な野菜、魚がたくさんとれるのですから、これらを毎日3食バランスよく食べ、間食はなるべく控えることが長生きのコツではないのでしょうか。（県統計課）

### 菓子類の年間購入額（1世帯当たり）

（平成8年家計調査より）



※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

ふるさとおもしろ統計学

牛の飼育の歴史に違い

## 西の牛肉，東の豚肉

統計を注意深く眺（なが）めてみると、ときどき意外なデータに首をひねったり、「なるほど」と妙に納得したりすることがあります。

今回は日本各地域による食品の好みの偏りについて、平成八年家計調査を用いて、その傾向と原因を考えてみたいと思います。

まず、本県の特産品の「納豆」です。よく関西人は納豆が苦手という話を耳にしますが、統計的にはどのようになっているのでしょうか。

年間購入額で比べて見ると、全国平均を100とすると関東では130、近畿では56と、確かに関東人は関西人の倍以上の納豆好きということがいえます。特に本県では、購入額はなんと219にもなり、毎年日本一となっています。本県が日本一の原因は、納豆の生産が全国に先駆け明治時代から始まったことにありそうです。（伝統型）

さて、縦に長い日本列島、納豆に限らず地方によって食味はバラバラのようです。グラフを見ると、同じ肉でも東日本では「豚肉」、西日本では「牛肉」が好まれていることがよく分かります。

西日本で牛肉が多い原因は、戦後になって牛の飼育に乗り出した東日本に比べ、西日本では明治時代から牛の飼育が盛んに行われていることがあげられます。（歴史型）

次に夏の果物の代表格の「スイカ」や「メロン」はどうでしょうか。スイカには地域的な差は見られませんが、メロンは完全に東日本で多く食べられています。原因としてはメロンが本県や北海道の特産物であることが考えられます。（産地型）

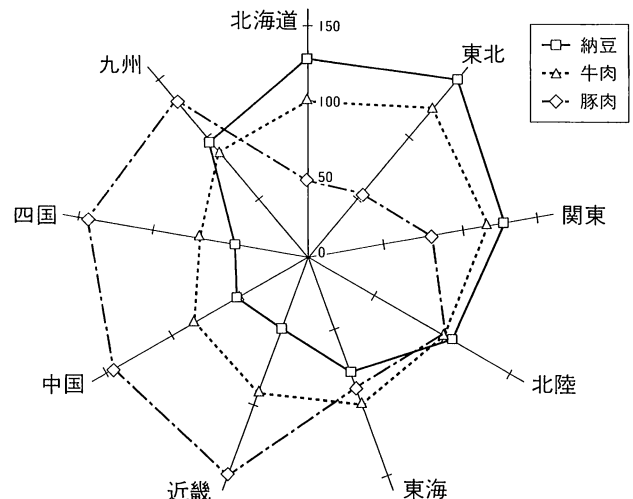
さらに、輸入果物で見ても、「バナナ」はスイカ同様全国的に偏りは見られませんが、「グレープフルーツ」は東日本で好まれています。

一見、輸入果物に偏りがあるのもおかしな話ですが、これはグレープフルーツの出回る時期に中・四国・九州では夏ミカンやネーブルオレンジが出荷されるためと言われれば、なるほどと納得させられます。（逆産地型）

最後に、少し意外なデータを紹介します。もうスーパーでは“初カツオ”がお目見えしていますが、本県はカツオの購入額が全国第四位となっています。これは、土佐カツオの高知県や、戻りカツオの宮城県などに次ぐ購入額です。はっきりとした原因は不明ですが、地理的に両県の間位置していることに関係がありそうです。（あえて名付ければ自然恩恵型）

カツオに限らず、本県は長い日本列島の真ん中に位置するため、全国各地の食べ物が容易に手に入ることが可能であり、知らないうちに家庭の食卓もバラエティーに富んでいるようです。普段気が付かないところで自然の恵みを受けていることもあるんですね。（県統計課）

地方別食品消費型 —平成8年家計調査より—



注1) 全国平均を100とした指数  
注2) 納豆は購入金額、牛肉・豚肉は購入数量

※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

## 統計調査とこの1年

伊奈町企画課 主事 大澤 紀子

就職7年目にして、初めての異動を体験したのが昨年4月1日。

担当は統計事務。私の頭の中には、統計調査＝国勢調査という方程式が成り立っていたので、たくさん調査があることにびっくり！そのうえ、統計調査員会なるものの存在にも驚き、しかも66人からの組織とは……。

口では「大丈夫。何とかなるよ。」と言いながら笑っていましたが、内心は「うーん、ほんとに大丈夫かあ？こんなめんどくさがりですぼらなのに。でも、やるしかないし……。」と、かなりの弱気でした。

しかし、私が弱気でいようが自信に満ちていようが、時間というものは止まってくれはしないのです。私にとっての初調査の時間が近づき、それに伴う細々とした準備をしたり調査内容を把握したりと、とまどいつつもなんとか作業を進めていきました。

調査員さんへの説明会も終わって、ちょっと一息ついたところに一本の電話が……。そうです。調査拒否の電話です。それもかなりどぎつい！これもまた初めての出来事で、身の縮む思いでした。命辛々対応し（ちょっと大げさかな）、受話器を置いたら涙腺がゆるみまくり、更衣室に駆け込み一人寂しく泣いてしまいました。あの何とも言えないショックは、できることならもう味わいたくないですね（かなわぬ思いですが……）。

この事件(!?)から実感したことがあります。それは、「調査員さんはすごい！」ということ。調

査員さんは調査対象者と直接会い、断られることがあっても、めげずに調査協力をお願いのために足を運んでいます。下手したら、近所の間人間関係にまでひびが入ることがあるのではないかと思います。なのに、いろいろな調査事務を引き受けてくれ、雨の日だろうが雪の日だろうが、こちらが決めた提出日に調査票を提出してくれるのです。それが仕事だと言われればそれまでですが、自分には直接関係のないことでさんざん文句を言われても我慢しているという忍耐力は、相当のものだと思うのです。

私は、統計調査を通じて、調査結果だけでなく、精神面でも大きなことを学んでいるような気がします。

そんなことを思いつつ2年目になり、調査員さん方の忍耐力はまだまだ養われていませんが、多少余裕が出てきた私（と自己満足♥）。この余裕が“怠惰”に変わらぬよう、忍耐力をつけながら調査事務に取り組んでいきたいと思っています。

調査員の方々、こんな私をどうぞ見守っててくださいネ！

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は、平成10年8月中旬に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。  
行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111 (内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
<b>中央省庁関係</b>		<b>茨城県関係</b>	
国民経済計算年報 平成10年版	経済企画庁	行財政改革大綱, 茨城県	人事課
国債統計年報 平成8年度	大蔵省	行財政改革実施計画 平成10年度	〃
申告所得税の実態 平成8年分	国税庁	地方公務員災害補償実施の手引	災害補償基金
法人企業の実態 平成8年分	〃	ライフプラン実施計画 平成10年度	職員課
学校基本調査報告書 平成9年度(高等教育機関)	文部省大臣官房	市町村公共施設の現況 平成9年3月31日現在	地方課
学校保健統計調査報告書 平成9年度	〃	茨城の事業所 平成8年事業所・企業統計調査	統計課
子どもの学習費調査報告書 平成8年度	〃	県民経済計算 平成7年度	〃
地方教育行政調査結果 平成9年度	文部省	社会生活統計指標, 茨城県	〃
結核の統計 1997	厚生省保健医療局	市町村民所得年報 平成6年度	〃
国民生活基礎調査 平成8年	厚生省大臣官房	茨城の地下水 平成9年版	水・土地計画課
人口動態統計 平成8年 下巻	〃	企業局水質年報 平成8年度 第28報	工務課
人口動態統計 平成8年 中巻	〃	廃棄物の現状とリサイクルの事例調査報告書	中小企業振興公社
伝染病統計 平成8年	〃		
第2回企業活動基本調査報告書 平成7年	関東通商産業局		
気象年報, 茨城県 平成9年	水戸地方気象台		
毎月勤労統計調査特別調査報告 平成9年	労働省		
労働組合基礎調査報告 平成8年	〃		
物価指数年報 平成9年	日本銀行調査統計局		

**編集後記**

インドネシアでは騒乱が続き、インドでは28年ぶりに核実験が行われ、経済界では世界的な合併が相次いでいます。

世界は刻々と変化していますが、統計の仕事は半年前、1年前の数字を追いかけることが多く、「今」の話題には疎くなりがちです。一社会人として、新しい情報にもっと目を向けなければと考える今日この頃です。  
(KM)

**統計いばらき**

1998.5 No.529

平成10年5月発行

編集兼発行/茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市三の丸1丁目5番38号

電話 029-221-8111(内線)2651・2652

029-221-5505(直通)

FAX 029-228-0961

印刷所/富士オフセット印刷株式会社